

ワークショップ2

「消化管疾患に対する AI はどこまで進んだか」

司会 入澤 篤志（獨協医科大学医学部内科学（消化器）講座）

平澤 俊明（がん研究会有明病院上部消化管内科）

近年、消化管疾患領域における AI 技術の進展は著しく、画像診断の精度向上、病変検出支援、手術操作の補助、治療戦略の最適化など、臨床応用が急速に広がりつつある。一方で、汎用性や実装面における課題は依然として残されている。本セッションでは、AI に関する最新の研究成果、実臨床での応用例、今後の展望と課題について、多角的かつ実践的観点からの演題を広く募集する。本領域における AI 応用の進展に繋がる建設的な知見の共有がなされることを期待する。